



六ツ南プロジェクト[Ⓜ][Ⓝ][Ⓟ]

「笑顔」「対話」「感動」を毎日 素直な心の六ツ南子

「対話」でつながりわくわく



「低学年の昇降口より」

様々な対話の形態

- ・ペア対話 …隣同士や前後2人で行う。教師による意図的なペアリングの場合もある。
- ・グループ対話… 座席近くの3、4人程度で行う。
- ・フリー対話 … 座席を離れて、子供自身が任意に相手を決めて行う。座席表によってあらかじめ相手の考えを知った上で行う場合もある。
- ・クラス対話 … クラス全体で行う。

六ツ南プロジェクトの1つ「対話」について、始業式に「つたえる」大切さを子供たちに話しました。平成28、29、30年度、岡崎市教育委員会の委嘱を受けて、「対話でつながり授業」の研究実践を積み上げてきた本校。今年度は、研究を継承しながら、六ツ南子と教師、地域が対話を通してつながることで、心豊かな子供たちを育てることができると考えました。

対話には、左のように（昨年度の研究会パンフレットより一部抜粋）様々な形態があります。六ツ南子も、友達に伝えることに抵抗は少なく、とても自然体です。発言する子に体を向けて、聞く姿勢になっています。教師は、聞き役であり、コーチ役です。今までの授業では、どうしても先生が話をして、子供は聞き役、つまり講義形式の授業が中心でした。しかし、六ツ美南

部小は違います。子供が主役です。

「これはすごい！」と思わせた場面に出会いました。それは、図工の自画像の授業です。子供がかってに他の作品の鑑賞を始めました。「この〇〇がいいね。「ほんと？」
「だってさあ・・・」と続きます。形の対話から、本当に伝えたい、本当に聞きたい対話へと変わってきています。これこそ本物のわくわくです。ご家庭でも、その日のわくわくをぜひ聞いてみてください。



「ここがいいねえ」

つたえる
 考えたこと、思ったことを仲間に
 伝えます。友達の考えを聞くと「あ、そ
 うか」「へーなるほど」「ちよつと違うな
 あ」とわくわくします。「聞くこと」も
 「伝える」ことがどんどん楽しくなり
 ます。（始業式の校長講話より）